

地域包括支援センター名	運営協議会の意見
松林地区 地域包括支援センター くるみ	組織内での情報共有の体制、職員間での連携体制、緊急時の対応、苦情対応について整備が必要である。 <b>認知症サポーター養成講座を小～高校生を含め5回開催するなど地域住民への積極的な働きかけは評価できる。</b>

各委員からの意見

※全体的な意見参照
※全体的な意見参照
今年度の取組方針について <b>養成講座の対象者に、小～高校生を入れたのは素晴らしいアイデアです。</b> その子供たちの感想が知りたいです。 団塊の世代が75歳を迎えて、高齢者が急増する2025年、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていける様に、医療・介護・介護予防・生活支援、住まいが包括的に確保されるケアシステムの構築が必要。
※全体的な意見参照
①後発の地域包括支援センターではあるが、 <b>地域住民との連携に向けた取り組みがなされている。</b> 三職種の連携、緊急対応、苦情処理について改善点があるが、他は概ね良好に運営されている。
全体的に市の方針に沿って取組まれている。ただ自己評価の表現が抽象的で具体的でない為、実態が伝わってこない。自己評価（3）が多いが、（3）の理由を具体的に表に欲しい。何が足りなかったか、どう改正してゆくか。 <u>緊急時連絡対応が携帯電話だけでは駄目、その後どうするか。</u>
2025年に向けてと長期に渡り、認知症対策を考えているようですが、そんな長い期間世の中状況も変わって大丈夫なのではないかと逆に心配ですが、職員さんもずーっと長くいるわけでもなくと考えさせられました。
設立後、日が浅いのに <b>認知症サポーター養成講座を5回開催等地域住民への積極的な働きかけは評価できる。</b> 組織の運営体制ができていますが、職員間の効果的な連携、円滑な運営のため、さらに利用者のために、職員が情報をより共有・活用できるように内部の会議等を充実する必要性を感じます。2-2「異動がなかった。」、「働きかけも委託先内部」となっていますが、評価「4」とする理由が分かりにくい。
地域ケア会議が開催され、関係機関・団体等で地域でケアを進めていく体制ができている。今後も、地域でケアが進められる様に、役割等が共有でき、連携できるとよい。 <u>組織内での情報共有の体制、職員間での連携体制、緊急時の対応、苦情対応について整備をお願いしたい。</u>
※全体的な意見参照
※全体的な意見参照